

Vol.14 No.2 '91

1992年1月31日 発行 目次

クローン病患者の病態とビタミンB ₁₂ 吸収能について	3
兵庫医科大学 第4内科 奥井雅憲 他	
セレン欠乏によると思われる多彩な症状を呈したクローン氏病の一例	8
国立病院医療センター 消化器科 海野 潤 他	
著明な低蛋白血症をきたし、経腸栄養療法が有用であった小腸クローン病の1例	9
北里大学東病院 消化器内科 沢田京子 他	
Imlerslund-Gräsbeck症候群の1例	13
久留米大学 第2内科 森田恭代 他	
長期のBlind loop症候群で低栄養をきたした1症例 —Lactulose負荷試験、亜鉛負荷試験および血中アルコール濃度測定を主に—	18
久留米大学 第2内科 今村公美 他	
摂食抑制作用を有するトリグリセリドについて	23
不二製油(株)中央研究所栄養・健康室 青山敏明 他	
モノ長鎖飽和・ジ中鎖脂肪酸トリグリセリドの吸収性について	27
不二製油(株)中央研究所第3研究室 吉田隆治 他	
1,3-dicaproyl-2-stearoyl-glycerolのラット消化器機能への影響	31
徳島大学 栄養学科病態栄養学 中坊幸弘 他	
大腸投与のための新しい試み	35
帝國製薬株式会社 高木敏光 他	
流動食の検討—(2) サンエツA投与における血中アミノ酸の変動	38
弘前大学 第3内科 中村光男 他	
インスリンの経腸吸収による血糖管理の基礎的研究—第4報—	41
千葉大学 第1外科 寺嶋雅史 他	
膵全摘モデルにおける経腸投与したインスリンの血糖値に与える影響	44
千葉大学 第1外科 斉藤 博 他	
糖質の消化吸收動態に及ぼす胃排出機能の影響 — 糖尿病性胃排出機能障害患者をモデルとした検討—	47
弘前大学 第3内科 石井正孝 他	
食品の種類による食後血糖の変動	50
弘前大学 第3内科 工藤研二 他	
絶食・摂食状態のラットにおける糖質の消化・吸収に及ぼす抗生物質の影響	54
日本女子大学 家政学部食物学科 杉山みち子 他	

短鎖脂肪酸の大腸液吸収促進効果	59
山形大学 生理 鈴木裕一 他	
空腸スクラーゼ・イソマルターゼ複合体に及ぼす中鎖脂肪(MCT)の影響	62
静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生理 合田敏尚 他	
Psyllium huskのコレステロール、グルコース吸収に及ぼす影響	67
滋賀医科大学 第2内科 南部卓三 他	
Clostridium difficile toxin起因性下痢症における消化吸収障害の検討	71
新潟大学 第3内科 中沢俊郎 他	
放射線誘発性急性下痢の腸内細菌説	75
獨協医科大学放射線医学教室 洪 誠秀	
蛋白漏出性胃腸症における^{99m}Tc-human serum albumin scintigraphy の検討	78
広島大学 第1内科 山中秀彦 他	
腸結核による回腸の瘢痕狭窄により、吸収障害・蛋白漏出性胃腸症を呈した1例	82
筑波大学 臨床医学系消化器内科 原 健 他	
胃癌に伴う消化管への蛋白漏出に関する臨床的検討	88
東邦大学 第1内科 中谷尚登 他	
5-fluorouracil (5-FU)誘導体の吸収動態第2報—特にBillroth- I 法再建例について	92
兵庫医科大学 第4内科 細見基信 他	
肝硬変症における硫酸亜鉛と亜鉛ジピコリネート経口負荷試験の検討	96
久留米大学 第2内科 藤崎一浩 他	
ラット小腸の腸内細菌及び粘液分布状態について—病態時との比較	100
大阪大学 小児外科 飯干泰彦 他	
モルモット小腸におけるマグネシウムの吸収フラックスとその基本的性質	104
静岡県立大学 食品栄養科学部 林 久由 他	
ウシ小腸サイトゾールZ及びY蛋白の胆汁酸結合能—肝サイトゾール蛋白との比較	109
帝京大学 第1内科 荒井咲子 他	
高齢ラットと若齢ラットにおける十二指腸単離細胞のCa₂₊ uptakeとeffluxの比較検討	113
浜松医科大学 第1内科 花井洋行 他	
小腸の生体外異物に対する防禦機能	117
大阪市立大学 生活科学部 栄養生理 小島明子 他	
小腸におけるコレステロール吸収へのリン脂質の影響とそのメカニズム	121
京都府立医科大学 第3内科 山根行雄 他	
細胞外マトリックス(ECM)と小腸上皮陰窩細胞(IEC 6 cell)の分化誘導について	126
滋賀医科大学 第2内科 平田真人 他	
小腸上皮の剥脱と腸内容の吸収に関する電子顕微鏡的研究	131

中村学園大学大学院 栄養形態 水谷明子 他

ブタ肝由来カルボキシエステラーゼの精製及び消化器系臓器における免疫学的局在136

東京大学 第1内科 松嶋成志 他

ラット空腸からの水・グルコース吸収におよぼすインドメタシン・プロスタグランジンの影響.....139

弘前大学 第1内科 阿部一郎 他

エイコサペンタエン酸(EPA)投与ラット小腸における二糖類加水分解酵素活性の検討143

東京医科大学 第4内科 清水直樹 他

胆汁瘻ラットにおける小腸刷子縁膜酵素turnoverの変化147

慶應義塾大学 内科 塩崎裕士 他

小腸広範切除後の残存腸管代償能に及ぼす食物繊維の効果152

久留米大学 第1外科 疋田茂樹 他

臍頭十二指腸切除術後に重症骨障害を呈した3例156

金沢大学 第2外科 榎谷博孝 他

あとがき

消化吸収研究会は、1985年、日本消化吸収学会に発展、今日にいたっているが、会誌「消化と吸収」も1989年から年2回刊行されることになり、3年目を迎えた。この間に演題の内容は充実の一途をたどり、一般演題をみても33題(1985)、33題(1986)、39題(1987)、38題(1988)、33題(1989)、33題(1990)、本年度は39題が発表された。

消化器病学のうち、消化吸収と限定した、いわば特定された内容についての発表の場であり、従って極めて専門的な討論がなされる場になっている。本年度は第22回日本消化吸収学会総会における講演のうち、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッションを既にNo.1として掲載した。今回、No.2には一般演題を掲載した。一般演題で報告された研究を症例、臨床研究、基礎研究に分けてみると、それぞれ4題、11題、24題と基礎研究の発表が多いことがわかり、本学会のめざす目的に沿う展開が認められる。

また、発表者の所属する組織別にみると大学からの発表が35題で最も多いが、大学以外の病院が関連している演題が1題、さらに企業からも3演題が報告され、巾の広い研究者層が、本学会に寄与していることがわかる。第23回の日本消化吸収学会は、初めて、会場を東京から神戸にうつし、兵庫医科大学の下山孝教授が会長をつとめられる。益々、全国的レベルに発展していくであろう。

(S・N)